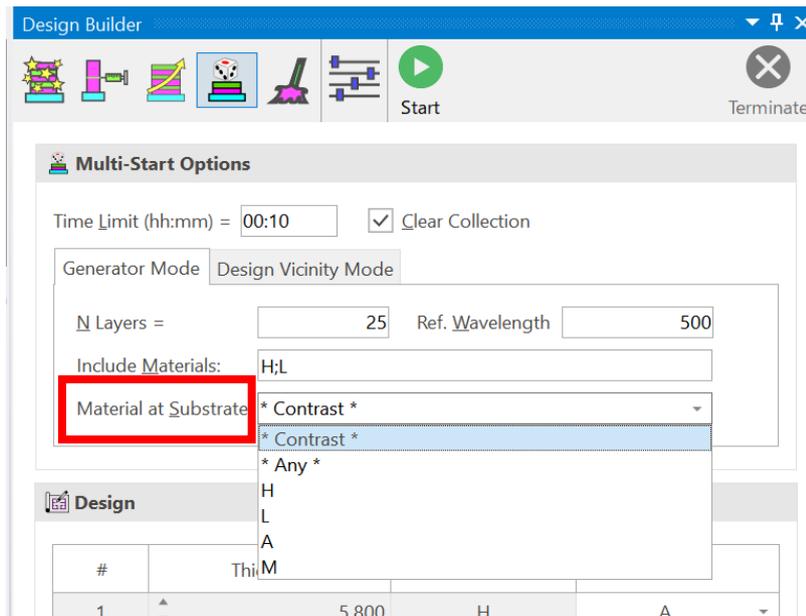


# OTF Studio ver.24.09 の更新内容

## 【更新内容】

### 1. Multi-Start の機能追加

Synthesis の Multi-Start Optimization で Generator Mode を選択した場合、基板側の第1層目の膜を選択することが可能になりました。



#### [ケイワン補足]

ニードル法は基板側の第1層目を、屈折率が基板と離れている材料を選択する方が収束は良くなります。しかしながら、膜の耐久性の観点から考えると低屈折材料の方が適切であることも多いため、本選択が追加されました。

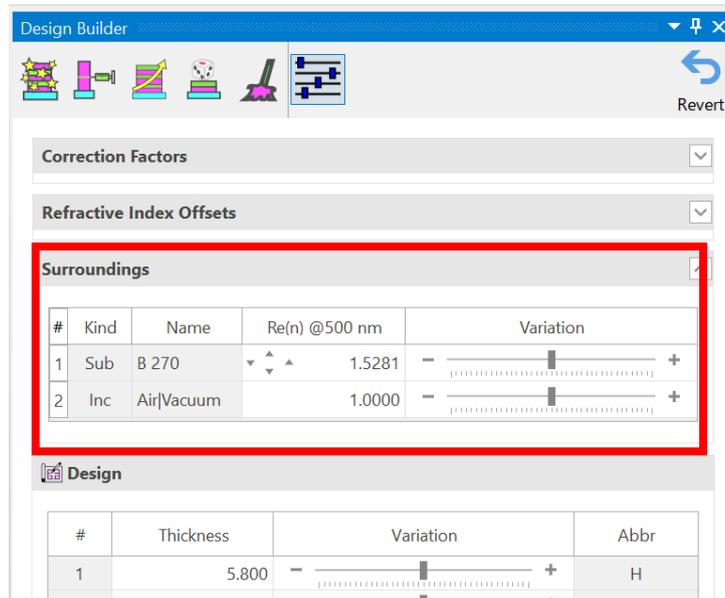
弊社での使用感としては低屈折率を第1層目と選択していても、通常の最適化においては特に問題となるような収束結果の悪化は感じておりません。もし、低屈折率層を第1層目として選択した結果が思わしくない場合は高屈折率材料でも確認されると良いかと思います。

### 2. Multi-Start Optimization の不具合修正

Multi-Start Optimization において、Target と設計層数の設定内容が不適切な場合、計算時間が収束しなくなり、Terminate ボタンにより中断しなくなってしまう現象を修正しました。

### 3. Variator の機能追加

AS モード、RE モードの Variator に Surroundings（基板、入射媒質）の屈折率を変化させる機能が追加されました。



以上